



弓削高等学校

<http://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>

学習に行事に活躍する笑顔の弓削高生！

弁論大会を開催

9月14日(木)にクラス弁論大会、9月20日(水)に校内弁論大会が行われました。一人ひとりの個性が光る作品が数多くありました。聞いている人は友だちの新たな一面を知ることができたと思います。校内で代表に選ばれた生徒は11月に実施される愛媛県高等学校総合文化祭で自分の意見を発表していきます。



公営塾プレオープン

9月25日(月)、公営塾がプレオープンしました。

写真は9月13日(水)に実施した全校集会(公営塾講師紹介)の様子です。講師の跡見洋祐先生は「弓削高校や上島町のご協力のおかげで、公営塾をプレオープンすることができました。生徒一人ひとりの個性をより一層伸ばせるよう頑張っていきます。」と言っていました。

愛顔つなぐえひめ国体軟式野球競技会のボランティアに参加

10月6日(金)・7日(土)、いきなスポレク公園蛙石野球場において「愛顔つなぐえひめ国体軟式野球競技会」が行われ、接待や記録のボランティアとして6名の生徒が参加しました。天候も悪い中でしたが、各県を代表する選手のサポートをしっかりとすることができました。



愛であふれる 上島町へ

気づいたら、一歩前へ！



弓削中学校との地域ふれあい学習会(昨年度)

9月に開催予定であった弓削地区地域ふれあい学習会は、弓削中学校の生徒のみなさんと一緒に「気づいたら、一歩前へ！」というテーマで、中学生が考える「こんな中学校、こんな上島町にしたい」という発表を聞いて、みんなでできることを話し合う予定でした。当日は、台風の影響で残念ながら開催できませんでしたが、また次回機会があれば、ぜひやってみようと思います。

これまでの各地区の学習会を通じて、参加者の方からいろいろなご意見をいただけるようになってきました。中には「子どもたちが正しく学んでいる姿を見て、大人が真剣に考える必要があると気づいた。」といったものや、「いろいろな立場の方と交流ができてよかった。積極的に行事に参加して、つながりがもてるようになりたい。」といった声もありました。参加した方に、何か一つでも「新しい気づき」を持って帰っていただけていることを、大変うれしく思います。

生涯学習課
中西 智恵

そのことを行動に移せる雰囲気をつくっていくことが、次の目標です。

行動といえば、自分の気づきから勇気を持って一歩踏み出した児童がいます。6月に弓削小学校でふれあいコンサートとして、歌とお話をもとに、命の大切さや人と人とのつながりについて考える機会がありました。そのコンサートが終わって、ある児童が、以前、いじめられていた子を助けることができず後悔していたこと、コンサートが終わってその子に電話をしたこと、「もう大丈夫だよ」という言葉を聞き、涙があふれ、その子に謝ったことを感想に書いてくれました。

思いを形にすること、行動に移すことは簡単なことではありませんが、勇気を持って一歩前に進むことで、変わることがあります。よりよい地域をつくるには、まずは自分から。そう思ってこれからも取り組んでいきたいと思っています。

「気づいたら、一歩前へ！」



弓削商船高等専門学校

<http://www.yuge.ac.jp/>

本校学生が国際交流訪問！

国立モンゴル科学技術大学へ
学生が国際交流訪問

8月22日(火)～9月3日(日)まで、本校の学生2名が国立モンゴル科学技術大学へ国際交流訪問を行いました。

この交流訪問は、平成26年度に本校と国立モンゴル科学技術大学との間で研究・教育交流協定が結ばれ、その一環として訪問したものです。

今回の訪問では、大学の実験室を見学し実験に参加するとともに、チングスハーン像テーマパークやモンゴルの民族歴史博物館なども見学し見聞を広めました。

参加した2名の学生にとって

国際的な視野を持った技術者として成長するための良い刺激となりました。

平成29年度商船学科卒業式
及び専攻科修了式を挙

9月26日(火)、平成29年度商船学科卒業式及び専攻科修了式が行われ、卒業生36名・修了生2名は新たな門出の日を

迎えました。

井瀬校長から卒業生へ「弓削は皆さんの母港です。いつでも帰ってきて錨を入れてください。皆さんが「良き航海」に向かって帆をあげることを祈念しております」と式辞がありました。

そして卒業生一同による「ごきげんよう！」という高らかな声とともに、制帽が高く投げられ、式典は終了しました。



島おこし協力隊活動報告

島のコミュニティスペースとして定着を

こんにちは、島おこし協力隊の佐藤です。9月は運動会、10月はお祭りに加えて今年はいひめ国体の開催もあり、島の秋は毎週末大賑わいですね。11月も文化祭、産業まつり、サイクリング大会と、まだまだ秋の行事は続いていきます。「島はのんびりしているようで実はとっても忙しい」ということを実感しています。

最近の活動は、7月にオープンした「佐島しまのひろば」を中心に行っております。週4日の野菜販売、週2日のパン出張販売が佐島しまのひろばのメインですが、暑さも落ち着いてきたことで、週末は佐島の子どもたちがちょっと立ち寄って遊び場所に使っていたり、佐島に工事に来ている業者さんがお弁当を食べる場所に使っていたりと、「誰でも立ち寄れるコミュニティ・休憩スペース」としても、少しずつ使ってもらえるようになってきました。野菜の販売の

方も、週4日とは言っていますが毎日何かしら販売しており、すっかり無人販売市らしくなってきました。近頃は、あずきやささげ、うずら豆といった豆類が人気商品になっています。新しいものが出荷されるたびに、生産者の皆さんが色々なものを作っていることに驚き、またそれらをどのように調理しようかととてもワクワクします。

9月末に、伊方町の地域おこし協力隊と協力して、佐島しまのひろばにて伊方町の観光PR・特産品販売と喫茶のイベントを行いました。小規模なイベントなうえ平日の開催でしたが、とても多くの地域の方に来ていただき、特産品はあっという間に売り切れてしまうという事態になってしまいました。町をあげての大きなイベントだけでなく、このような小さな規模でのちょっとしたイベントをこれからも佐島で実施していく予定ですので、楽しみにしてください。



佐島しまの広場で伊方町観光PRイベントを開催

島おこし協力隊
佐藤 仁美